

**SANNIX**

for Energy, for Environment

Photovoltaic Solution

Total Sanitation

Environmental Resources Development

**2016年3月期 第2四半期 決算説明会**

**株式会社サニックス**

2015年 11月16日

# 1. 2016年3月期 第2四半期 決算概況 P.3

# 2. 2016年3月期 通期 業績見通し P.13

## 【免責事項】

本資料には、将来の業績予測に関する記述が含まれています。こうした将来の業績予測に関する記述は、将来業績を保証することを意図するものではなく、一定の前提条件と経営陣の現時点で入手可能な情報による判断に基づくものです。従いまして、以下の要因をはじめとする様々な要因により、将来時点における実際の収益及び業績は、業績予測に関する記述と大きく異なる可能性があります。

日本の景気動向、「再生可能エネルギーの固定買取制度」の動向および当該制度に関わる電力会社の動向、他の業者との競争環境、技術革新、規制環境、法律環境及びその他の当社の予測を超える様々な要因。

本資料は当社が発行する証券への投資を勧誘することを企図した資料ではありません。本資料に含まれる情報に基づいて発生した損失・債務に関して、当社は一切の責任を負わない旨をご了承下さい。

## (注)

- ・ 数値については、単位未滿を切り捨てて表示しております。
- ・ 営業利益、経常利益、当期純利益の”△”表記は、それぞれ営業損失、経常損失、当期純損失を表します。
- ・ 比率がマイナスあるいは1000%を超える値の場合「－」で表示しております。



for Energy, for Environment  
Photovoltaic Solution  
Total Sanitation  
Environmental Resources Development

---

# 1. 2016年3月期 第2四半期 決算概況

(単位：百万円)

	2015/3期 2Q累計	2016/3期 2Q累計				
	実績	実績	前年同期比	前年同期差異	計画	計画比
売上高	44,008	<b>30,631</b>	69.6%	Δ 13,376	35,298	86.8%
売上総利益	9,343	<b>5,863</b>	62.8%	Δ 3,479	8,276	70.9%
(売上高売上総利益率)	21.2%	19.1%			23.4%	
営業利益	Δ 2,717	<b>Δ 2,483</b>	—	+ 233	Δ 280	—
(売上高営業利益率)	—	—			—	
経常利益	Δ 2,859	<b>Δ 2,364</b>	—	+ 494	Δ 350	—
(売上高経常利益率)	—	—			—	
当期純利益	Δ 3,194	<b>Δ 2,940</b>	—	+ 254	Δ 760	—
(売上高当期純利益率)	—	—			—	

①売上高 太陽光発電事業における市場環境の変化による影響等を受け、大幅な減収となった。この結果、グループ全体の売上高は30,631百万円（前年同期比30.4%減）となった。

②利益 当第2四半期会計期間以降、経営合理化等により経費は低減しているが、減収幅が大きかったことを受け、営業損失となった。この結果、グループ全体の損益は、2,483百万円の営業損失（前年同期は2,717百万円の営業損失）、2,364百万円の経常損失（前年同期は2,859百万円の経常損失）、また、12月に予定しております店舗統廃合に伴い発生する一時的な費用や車輛関連の解約に係る費用として減損損失134百万円を特別損失に計上したため、2,940百万円の四半期純損失（前年同期は3,194百万円の四半期純損失）となった。

# 第2四半期 セグメント別損益実績

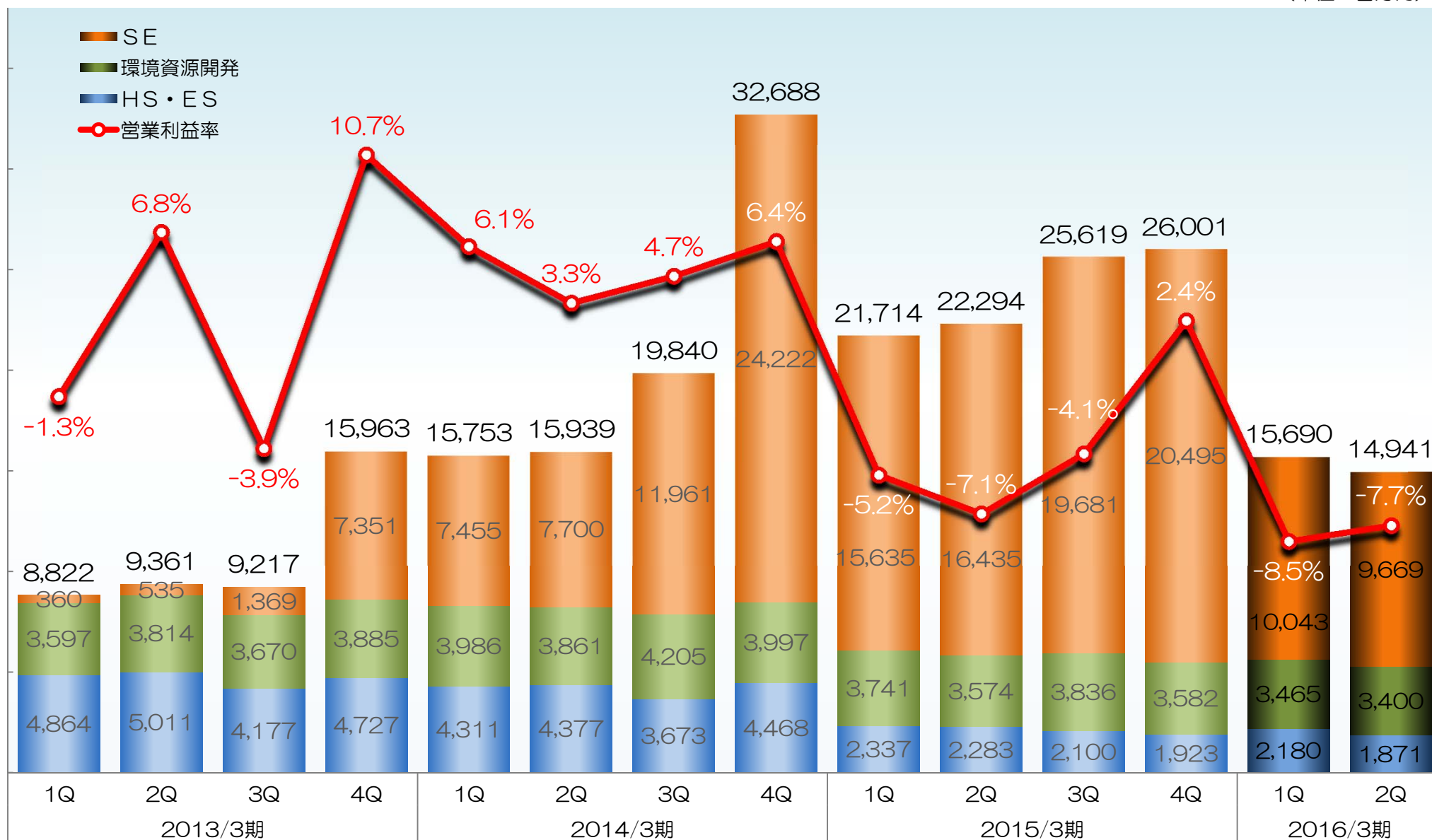
(単位：百万円)

	2015/3期 2Q累計		2016/3期 2Q累計				
	実績	売上比	実績	売上比	前年同期比	計画差異	計画売上比
売上高	44,008		<b>30,631</b>		69.6%	Δ 4,666	
SE部門	32,071	72.9%	<b>19,713</b>	64.4%	61.5%	Δ 4,073	67.4%
環境資源開発部門	7,316	16.6%	<b>6,866</b>	22.4%	93.9%	Δ 292	20.3%
HS・ES部門	4,621	10.5%	<b>4,052</b>	13.2%	87.7%	Δ 299	12.3%
売上総利益	9,343	21.2%	<b>5,863</b>	19.1%	62.8%	Δ 2,412	23.4%
販売費・一般管理費	12,060	27.4%	<b>8,347</b>	27.3%	69.2%	Δ 208	24.2%
営業利益	Δ 2,717	—	<b>Δ 2,483</b>	—	—	Δ 2,203	—
SE部門	Δ 2,277	—	<b>Δ 1,372</b>	—	—	Δ 2,005	—
環境資源開発部門	498	(6.8%)	<b>Δ 178</b>	—	—	Δ 36	—
HS・ES部門	821	(17.8%)	<b>614</b>	(15.2%)	74.8%	Δ 247	(19.8%)
配賦不能	Δ 1,758	—	<b>Δ 1,546</b>	—	—	+ 86	—

・各セグメントの営業利益の売上比は、各セグメントの売上高に対する比率を( )内に表示しております。

# セグメント別売上高の推移

(単位：百万円)



・2014/3期までの実績については、SE部門は旧産業用PV部門の実績であり、HS・ES部門は太陽光発電システムの実績を含めて表示しております。

(単位:百万円)

	2015/3期 2Q累計		2016/3期 2Q累計				
	実績	売上比	実績	売上比	前期比	計画	計画売上比
売上高合計	32,071		<b>19,713</b>		61.5%	23,787	
太陽光発電システム							
施工売上 西日本	24,841	77.5%	<b>10,155</b>	51.5%	40.9%	11,692	49.2%
東日本	2,771	8.6%	<b>6,092</b>	30.9%	219.9%	9,042	38.0%
卸販売	4,404	13.7%	<b>3,407</b>	17.3%	77.4%	2,995	12.6%
その他	54	0.2%	<b>57</b>	0.3%	105.9%	57	0.2%
売上原価	26,308	82.0%	<b>16,616</b>	84.3%	63.2%	18,553	78.0%
うち、材料費等*	17,734	55.3%	<b>11,334</b>	57.5%	63.9%	13,140	55.2%
うち、労務費	4,377	13.6%	<b>2,675</b>	13.6%	61.1%	2,977	12.5%
売上総利益	5,762	18.0%	<b>3,096</b>	15.7%	53.7%	5,233	22.0%
販売費・一般管理費	8,039	25.1%	<b>4,469</b>	22.7%	55.6%	4,600	19.3%
うち、広告宣伝費	933	2.9%	<b>1</b>	0.0%	0.2%	0	0.0%
うち、人件費	2,937	9.2%	<b>2,064</b>	10.5%	70.3%	2,230	9.4%
営業利益	△ 2,277	—	<b>△ 1,372</b>	—	—	633	2.7%

※材料費等は、材料費と消耗品費を合算しております。

太陽光発電関連事業において、東日本地区の施工売上が前年同期比119.9%増加した。しかしながら、前年同期間において売上構成比が大きかった西日本地区における市場環境変化による影響は避けられず、売上高が減少した。この結果、売上高は19,713百万円(前年同期比38.5%減)となった。

営業損益は、減収幅が大きかったため、売上高に占める人件費等の固定費比率の改善には至らず、1,372百万円の営業損失(前年同期は2,277百万円の営業損失)となった。

# 【参考】SE事業部門損益の半期推移

(単位：百万円)

	2015/3期				2016/3期					
	上半期		下半期		1Q		2Q		上半期	
	実績	売上比	実績	売上比	実績	売上比	実績	売上比	実績	売上比
売上高	32,071		40,176		10,043		<b>9,669</b>		<b>19,713</b>	
売上原価	26,308	82.0%	33,871	84.3%	8,897	88.6%	<b>7,718</b>	79.8%	<b>16,616</b>	84.3%
材料費等	17,734	55.3%	23,945	59.6%	5,896	58.7%	<b>5,437</b>	56.2%	<b>11,334</b>	57.5%
労務費	4,377	13.6%	4,862	12.1%	1,637	16.3%	<b>1,038</b>	10.7%	<b>2,675</b>	13.6%
外注加工費	2,259	7.0%	2,399	6.0%	399	4.0%	<b>561</b>	5.8%	<b>961</b>	4.9%
その他	1,938	6.0%	2,664	6.6%	964	9.6%	<b>681</b>	7.0%	<b>1,645</b>	8.3%
売上総利益	5,762	18.0%	6,304	15.7%	1,146	11.4%	<b>1,950</b>	20.2%	<b>3,096</b>	15.7%
販売費・一般管理費	8,039	25.1%	6,318	15.7%	2,296	22.9%	<b>2,172</b>	22.5%	<b>4,469</b>	22.7%
人件費	2,937	9.2%	3,042	7.6%	1,066	10.6%	<b>997</b>	10.3%	<b>2,064</b>	10.5%
広告宣伝費	933	2.9%	226	0.6%	0	0.0%	<b>0</b>	0.0%	<b>1</b>	0.0%
その他	4,168	13.0%	3,049	7.6%	1,228	12.2%	<b>1,174</b>	12.1%	<b>2,403</b>	12.2%
営業利益	Δ 2,277	—	Δ 13	—	Δ 1,150	—	<b>Δ 222</b>	—	<b>Δ 1,372</b>	—



## ■限界利益率・損益分岐売上高の推移

売上高に占める変動費(材料費・外注加工費・運賃等)を引いた利益率を限界利益率として表示。

	2015/3期			2016/3期			
	上半期	下半期	通期	1 Q 実績	2Q 実績	上半期 実績	上半期 計画
限界利益率 (%)	35.0	31.6	33.1	33.8	35.6	34.7	38.7
月平均固定費 (百万円)	1,949	2,131	2,040	1,516	1,221	1,368	1,430
損益分岐売上高 (百万円)	5,561	6,740	6,156	4,481	3,431	3,944	3,692

損益分岐売上高…固定費÷限界利益率

## ■固定費率の推移

労務費・人件費、その他経費(賃借料・車両費・共通費等)の固定費が売上高に占める割合を表示。

(%)	2015/3期			2016/3期			
	上半期	下半期	通期	1 Q 実績	2Q 実績	上半期 実績	上半期 計画
労務費 人件費	22.8	19.7	21.1	26.9	21.1	24.0	21.9
その他経費	13.7	12.2	12.8	18.4	16.8	17.6	14.2
固定費計	36.5	31.8	33.9	45.3	37.9	41.6	36.1

(単位：百万円)

	2015/3期 2Q累計		2016/3期 2Q累計				
	実績	売上比	実績	売上比	前期比	計画	計画売上比
売上高合計	7,316		<b>6,866</b>		93.9%	7,159	
プラスチック燃料	3,860	52.8%	<b>3,455</b>	50.3%	89.5%	3,775	52.7%
売電収入	1,832	25.0%	<b>1,613</b>	23.5%	88.1%	1,670	23.3%
有機廃液処理	760	10.4%	<b>843</b>	12.3%	111.0%	900	12.6%
埋立処理	330	4.5%	<b>386</b>	5.6%	117.0%	322	4.5%
その他	532	7.3%	<b>567</b>	8.3%	106.4%	489	6.8%
売上総利益	1,395	19.1%	<b>722</b>	10.5%	51.8%	753	10.5%
販売費一般管理費	897	12.3%	<b>901</b>	13.1%	100.4%	895	12.5%
営業利益	498	6.8%	<b>△ 178</b>	—	—	△ 142	—

「プラスチック燃料収入」は、廃プラスチック類の搬入量は微増となったが、受入単価低下により前年同期比10.5%減となった。「売電収入」は、苫小牧発電所が当第2四半期連結累計期間において2年に一度のボイラー及び4年に一度のタービンの法定点検及び定期修理を実施したことを主因として、前年同期比11.9%減となった。この結果、売上高は6,866百万円（前年同期比6.1%減）となった。

営業損益は、減収に加え、苫小牧発電所の点検並びに修繕費が増加したことにより、178百万円の営業損失（前年同期は498百万円の営業利益）となった。

(単位：百万円)

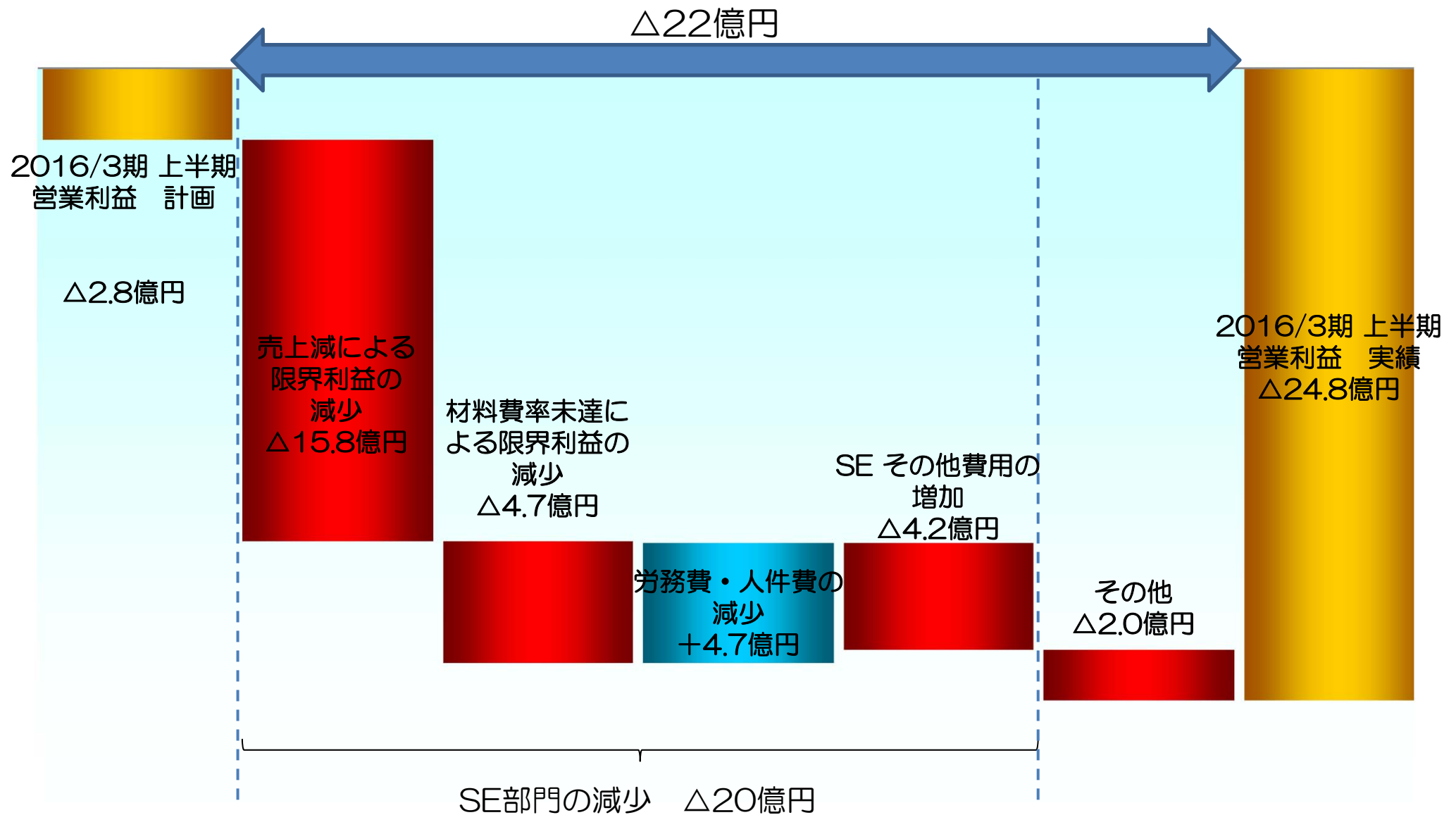
	2015/3期 2Q累計		2016/3期 2Q累計				
	実績	売上比	実績	売上比	前期比	計画	計画売上比
売上高合計	4,621		<b>4,052</b>		87.7%	4,352	
HS事業部門	4,058	87.8%	<b>3,596</b>	88.8%	88.6%	3,911	89.9%
ES事業部門	562	12.2%	<b>455</b>	11.2%	80.9%	441	10.1%
売上総利益	2,185	47.3%	<b>2,044</b>	50.5%	93.5%	2,289	52.6%
販売費一般管理費	1,364	29.5%	<b>1,430</b>	35.3%	104.8%	1,427	32.8%
営業利益	821	17.8%	<b>614</b>	15.2%	74.8%	862	19.8%

HS事業部門は、主たる業務を「白蟻防除施工」や「床下・天井裏換気システム」等衛生管理関連のメンテナンスとした。この結果、売上高は3,596百万円（前年同期比11.4%減）となった。

営業損益は、減収となったことにより588百万円の営業利益（前年同期比33.2%減）となった。

ES事業部門は、主たる業務をビル・マンション等における衛生管理関連のメンテナンスとした。この結果、売上高は455百万円（前年同期比19.1%減）となった。

営業損益は、減収となったもののコスト改善により25百万円の営業利益（前年同期は59百万円の営業損失）となった。





for Energy, for Environment  
Photovoltaic Solution  
Total Sanitation  
Environmental Resources Development

---

## 2. 2016年3月期 通期 業績見通し

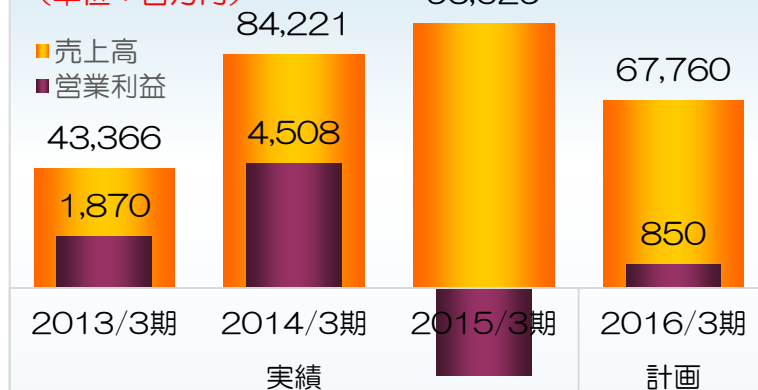
2015年11月13日に業績見通しを修正いたしました。

(単位：百万円)

	2015/3期	2016/3期			
	実績	修正計画	前期比	5月13日発表時	
				計画	差異
売上高	95,629	<b>67,760</b>	70.9%	78,000	△ 10,240
売上総利益	18,907	<b>16,850</b>	89.1%	21,207	△ 4,357
(売上高売上総利益率)	19.8%	<b>24.9%</b>		27.2%	
営業利益	△3,142	<b>850</b>	—	4,000	△ 3,150
(売上高営業利益率)	—	<b>1.3%</b>		5.1%	
経常利益	△3,439	<b>920</b>	—	3,820	△ 2,900
(売上高経常利益率)	—	<b>1.4%</b>		4.9%	
当期純利益	△4,966	<b>60</b>	—	2,820	△ 2,760
(売上高当期純利益率)	—	<b>0.1%</b>		3.6%	

### 売上高・営業利益の比較

(単位：百万円)



平成28年3月期の連結業績予想については、平成27年11月13日付で上記のとおり修正した。

S E事業部門に係る太陽光発電事業において、第2四半期累計期間における業績が前回予想を下回ったことに加え、太陽光発電事業において当下半期会計期間における施工件数は前回予想を下回る見込みである。

利益については、当第1四半期会計期間中に実施した経営合理化策や、今般の希望退職者募集等の実施により、当第3四半期会計期間以降は採算性は改善するが、売上高が前回予想を下回ること、営業損益、経常損益は前回予想を下回る見込みである。

2015年11月13日に業績見通しを修正いたしました。

(単位:百万円)

	2016/3期								
	上半期			下半期			通期		
	実績	売上比	年初計画 差異	修正計画	売上比	年初計画 差異	修正計画	売上比	年初計画 差異
売上高	30,631		Δ 4,666	<b>37,128</b>		Δ 5,573	<b>67,760</b>		Δ 10,240
SE部門	19,713	64.4%	Δ 4,073	<b>24,966</b>	67.2%	Δ 5,970	<b>44,680</b>	65.9%	Δ 10,044
環境資源開発部門	6,866	22.4%	Δ 292	<b>8,493</b>	22.9%	+ 620	<b>15,360</b>	22.7%	+ 328
HS・ES部門	4,052	13.2%	Δ 299	<b>3,667</b>	9.9%	Δ 224	<b>7,720</b>	11.4%	Δ 524
売上総利益	5,863	19.1%	Δ 2,412	<b>10,986</b>	29.6%	Δ 1,944	<b>16,850</b>	24.9%	Δ 4,357
販売費一般管理費	8,347	27.3%	Δ 208	<b>7,652</b>	20.6%	Δ 998	<b>16,000</b>	23.6%	Δ 1,207
営業利益	Δ2,483	—	Δ 2,203	<b>3,333</b>	9.0%	Δ 946	<b>850</b>	1.3%	Δ 3,150
SE部門	Δ1,372	—	Δ 2,005	<b>3,232</b>	(12.9%)	Δ 1,202	<b>1,860</b>	(4.2%)	Δ 3,208
環境資源開発部門	Δ178	—	Δ 36	<b>1,148</b>	(13.5%)	+ 229	<b>970</b>	(6.3%)	+ 193
HS・ES部門	614	(15.2%)	Δ 247	<b>355</b>	(9.7%)	Δ 146	<b>970</b>	(12.6%)	Δ 394
配賦不能	Δ1,546	—	+ 86	<b>Δ1,403</b>	—	+ 172	<b>Δ2,950</b>	—	+ 259
経常利益	Δ2,364	—	Δ 2,014	<b>3,284</b>	8.8%	Δ 885	<b>920</b>	1.4%	Δ 2,900
当期純利益	Δ2,940	—	Δ 2,180	<b>3,000</b>	8.1%	Δ 579	<b>60</b>	0.1%	Δ 2,760

・各セグメントの営業利益の売上比は、各セグメントの売上高に対する比率を( )内に表示しております。

## ■コスト削減額

		今期削減額	
希望退職	人件費	379百万円	募集人員 300名
	福利厚生	9百万円	
店舗統廃合	賃借料	17百万円	西日本SE事業部6店舗、 HS事業部5店舗を近隣他店舗に統合 ※
	車輛費	22百万円	150台減車、燃料費を含む
コスト削減 計		427百万円	

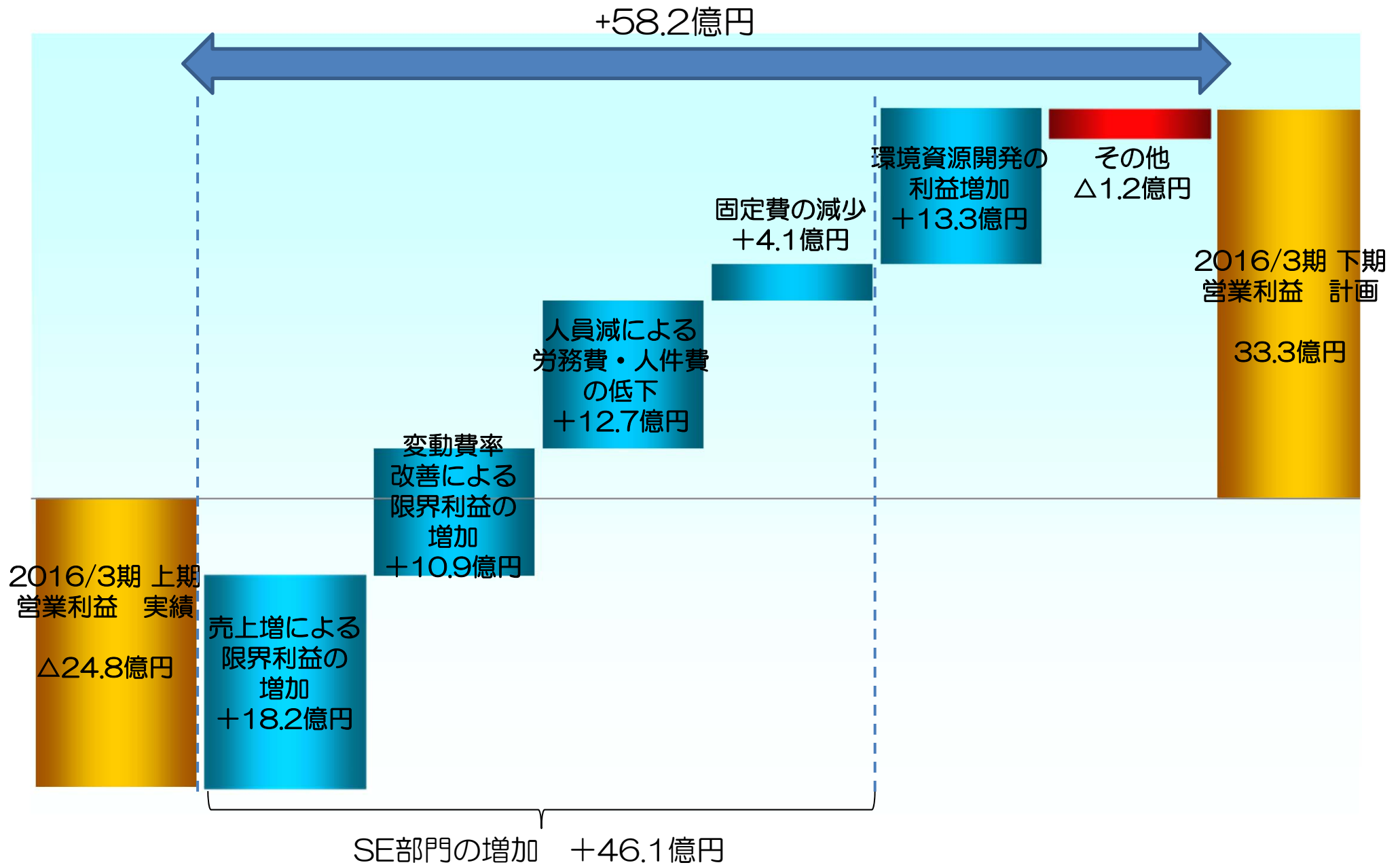
※統廃合後の西日本SE事業部門における店舗数は39ヶ店、HS事業部門は45ヶ店となります。

## 【参考】人員数推移

	2014/3期	2015/3期		2016/3期	
	3月末	9月末	3月末	6月末	9月末
連結合計	3,291名	4,420名	3,625名	2,989名	2,882名
			前期末比較	△636名	△743名



# 【参考】営業利益 増減理由 (上期対下期)



2015年11月13日に業績見通しを修正いたしました。

(単位:百万円)

	2016/3期								
	上半期			下半期			通期		
	実績	売上比	前年同期 差異	計画	売上比	前年同期 差異	計画	売上比	前年同期 差異
売上高合計	<b>19,713</b>		Δ 12,358	<b>24,966</b>		Δ 15,209	<b>44,680</b>		Δ 27,567
太陽光発電システム									
施工売上 西日本	<b>10,155</b>	51.5%	Δ 14,685	<b>12,299</b>	49.3%	Δ 13,250	<b>22,455</b>	50.3%	Δ 27,936
東日本	<b>6,092</b>	30.9%	+ 3,321	<b>11,000</b>	44.1%	+ 1,102	<b>17,093</b>	38.3%	+ 4,424
卸販売	<b>3,407</b>	17.3%	Δ 997	<b>1,622</b>	6.5%	Δ 3,061	<b>5,029</b>	11.3%	Δ 4,058
その他	<b>57</b>	0.3%	+ 3	<b>44</b>	0.2%	+ 0	<b>101</b>	0.2%	+ 3
売上原価	<b>16,616</b>	84.3%	Δ 9,692	<b>17,963</b>	71.9%	Δ 15,908	<b>34,580</b>	77.4%	Δ 25,600
うち、材料費等	<b>11,334</b>	57.5%	Δ 6,400	<b>13,245</b>	53.1%	Δ 10,699	<b>24,579</b>	55.0%	Δ 17,099
うち、労務費	<b>2,675</b>	13.6%	Δ 1,701	<b>1,920</b>	7.7%	Δ 2,941	<b>4,596</b>	10.3%	Δ 4,643
売上総利益	<b>3,096</b>	15.7%	Δ 2,665	<b>7,003</b>	28.1%	+ 698	<b>10,100</b>	22.6%	Δ 1,967
販売費一般管理費	<b>4,469</b>	22.7%	Δ 3,570	<b>3,770</b>	15.1%	Δ 2,547	<b>8,240</b>	18.4%	Δ 6,118
うち、広告宣伝費	<b>1</b>	0.0%	Δ 931	<b>0</b>	0.0%	Δ 226	<b>1</b>	0.0%	Δ 1,158
うち、人件費	<b>2,064</b>	10.5%	Δ 873	<b>1,549</b>	6.2%	Δ 1,492	<b>3,613</b>	8.1%	Δ 2,365
営業利益	<b>Δ 1,372</b>	—	+ 904	<b>3,232</b>	12.9%	+ 3,246	<b>1,860</b>	4.2%	+ 4,151

SE事業部門においては、市場規模が大きい関東、関西、中京地区の体制を強化し営業力の強化を図りつつ、当第1四半期会計期間に行った希望退職者の募集、店舗統廃合等の経営合理化を実施し、固定費全般の低減により収益構造を改善してきた。さらに、今般の希望退職者募集等合理化策の実施により、SE事業部門の損益分岐売上は相当に低下するものと見込んでおり、当第3四半期会計期間以降、採算性の好転を図り、持続的な成長につなげていく。

## ■ 限界利益率・損益分岐売上高の推移

売上高に占める変動費(材料費・外注加工費・運賃等)を引いた利益率を限界利益率として表示。

	2015/3期			2016/3期		
	上半期 実績	下半期 実績	通期 実績	上半期 実績	下半期 計画	通期 計画
限界利益率 (%)	35.0	31.6	33.1	34.7	40.1	37.7
月平均固定費 (百万円)	1,949	2,131	2,040	1,368	1,130	1,249
損益分岐売上高 (百万円)	5,561	6,740	6,156	3,944	2,818	3,312

損益分岐売上高…固定費÷限界利益率

## ■ 固定費率の推移

労務費・人件費、その他経費(賃借料・車両費・共通費等)の固定費が売上高に占める割合を表示。

(%)	2015/3期			2016/3期		
	上半期 実績	下半期 実績	通期 実績	上半期 実績	下半期 計画	通期 計画
労務費 人件費	22.8	19.7	21.1	24.0	13.9	18.4
その他経費	13.7	12.2	12.8	17.6	13.3	15.2
固定費計	36.5	31.8	33.9	41.6	27.2	33.6

2015年11月13日に業績見通しを修正いたしました。

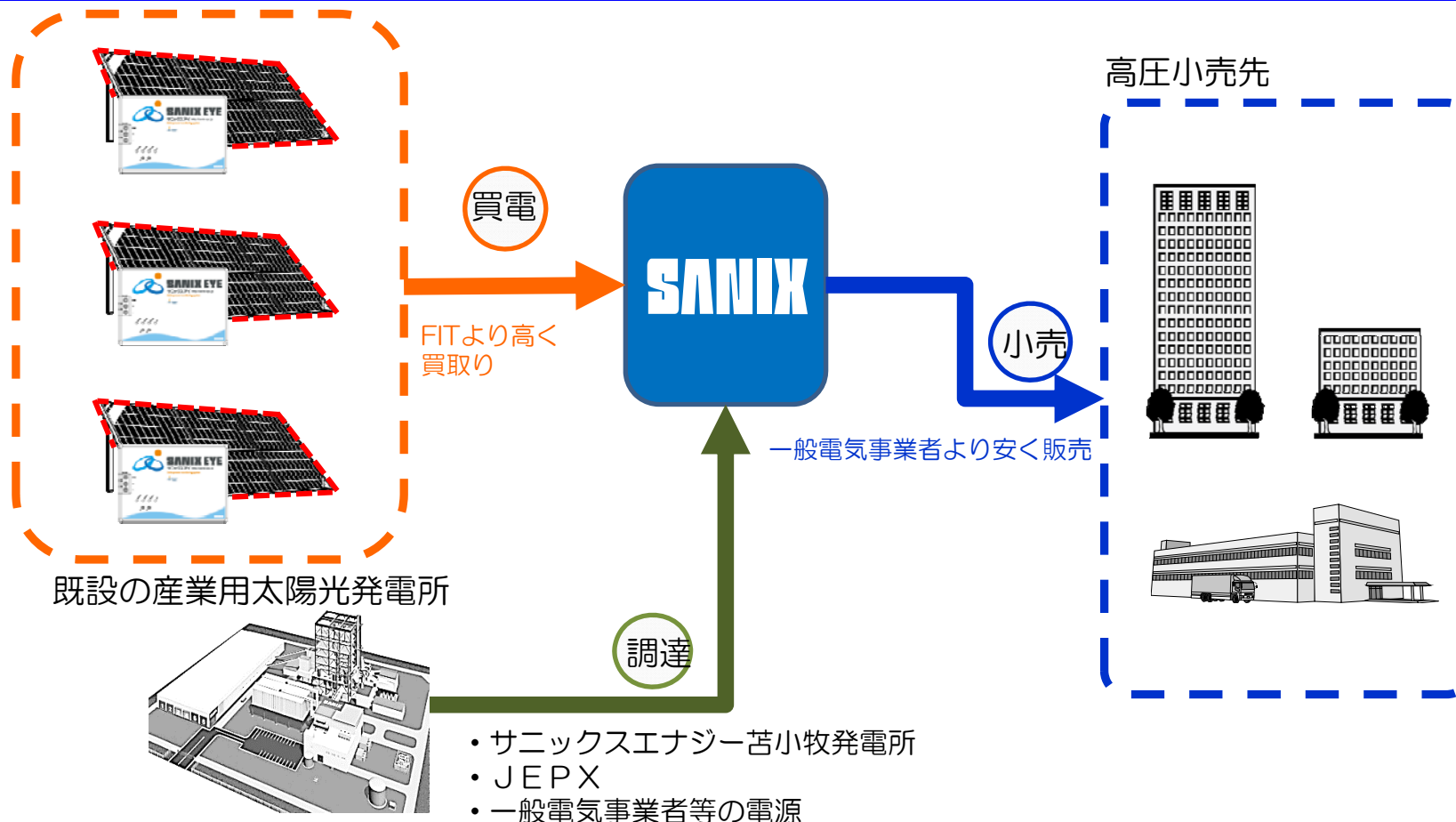
(単位:百万円)

	2016/3期								
	上半期			下半期			通期		
	実績	売上比	前年同期 差異	計画	売上比	前年同期 差異	計画	売上比	前年同期 差異
売上高合計	<b>6,866</b>		△ 449	<b>8,493</b>		+ 1,073	<b>15,360</b>		+ 624
プラスチック燃料	<b>3,455</b>	50.3%	△ 404	<b>4,256</b>	50.1%	+ 582	<b>7,712</b>	50.2%	+ 177
売電収入	<b>1,613</b>	23.5%	△ 218	<b>2,555</b>	30.1%	+ 591	<b>4,168</b>	27.1%	+ 372
有機廃液処理	<b>843</b>	12.3%	+ 83	<b>943</b>	11.1%	+ 68	<b>1,786</b>	11.6%	+ 151
埋立処理	<b>386</b>	5.6%	+ 55	<b>268</b>	3.2%	△ 20	<b>654</b>	4.3%	+ 35
その他	<b>567</b>	8.3%	+ 34	<b>470</b>	5.5%	△ 147	<b>1,037</b>	6.8%	△ 113
売上総利益	<b>722</b>	10.5%	△ 672	<b>2,137</b>	25.2%	+ 738	<b>2,860</b>	18.6%	+ 66
販売費一般管理費	<b>901</b>	13.1%	+ 3	<b>988</b>	11.6%	+ 62	<b>1,890</b>	12.3%	+ 66
営業利益	<b>△178</b>	—	△ 676	<b>1,148</b>	13.5%	+ 676	<b>970</b>	6.3%	△ 0

2015年11月13日に業績見通しを修正いたしました。

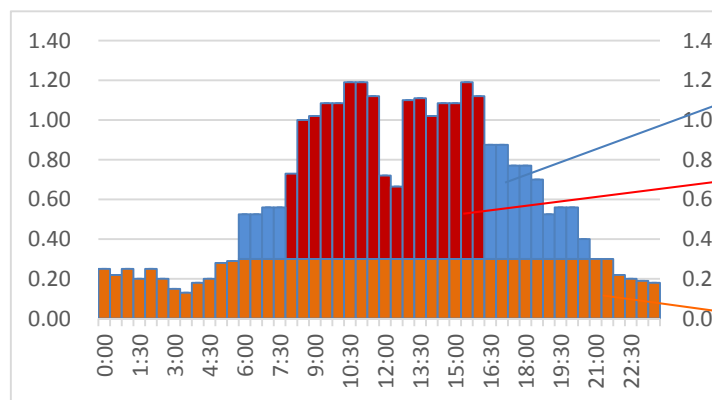
(単位:百万円)

	2016/3期								
	上半期			下半期			通期		
	実績	売上比	前年同期 差異	計画	売上比	前年同期 差異	計画	売上比	前年同期 差異
売上高合計	4,052		△ 568	3,667		△ 356	7,720		△ 925
HS事業部門	3,596	88.8%	△ 461	3,223	87.9%	△ 323	6,820	88.3%	△ 785
ES事業部門	455	11.2%	△ 107	444	12.1%	△ 32	900	11.7%	△ 140
売上総利益	2,044	50.5%	△ 141	1,845	50.3%	△ 15	3,890	50.4%	△ 156
販売費一般管理費	1,430	35.3%	+ 65	1,489	40.6%	+ 393	2,920	37.8%	+ 459
営業利益	614	15.2%	△ 206	355	9.7%	△ 408	970	12.6%	△ 615



## 供給する電源構成のイメージ

自社電源（および常時バックアップ電源）をベース電源と位置づけ、昼間使用可能な太陽光からの電力とJEPXから仕入れる電力を、コストが最小となるように構成し、供給します。



JEPXからの調達  
買取太陽光発電所からの電力  
自社電源あるいは一般電気事業者からの常時バックアップ電源

## 【小売ライセンス取得について】

10月8日にSEウイングスにおいて「登録小売電気事業者」登録済み。登録番号「A0007」。サニックスにおいても登録申請済み（本年中に登録予定）。

## 【太陽光発電所の電力買取について】

10月より順次買取を開始し、11月現在中部電力、関西電力、九州電力管内において自社電源として利用中。12月より東京電力、中国電力でも買取開始。なお、北海道電力管内においては、自社施工太陽光案件がないため、苫小牧発電所の電源等を主電源として供給中。

## 【電力小売について】

11月現在、北海道電力、東京電力、中部電力、関西電力、中国電力、九州電力の6電力管内において約200件の高圧需要家に供給中。小売先は順調に伸びており、近い将来収益貢献の予定。

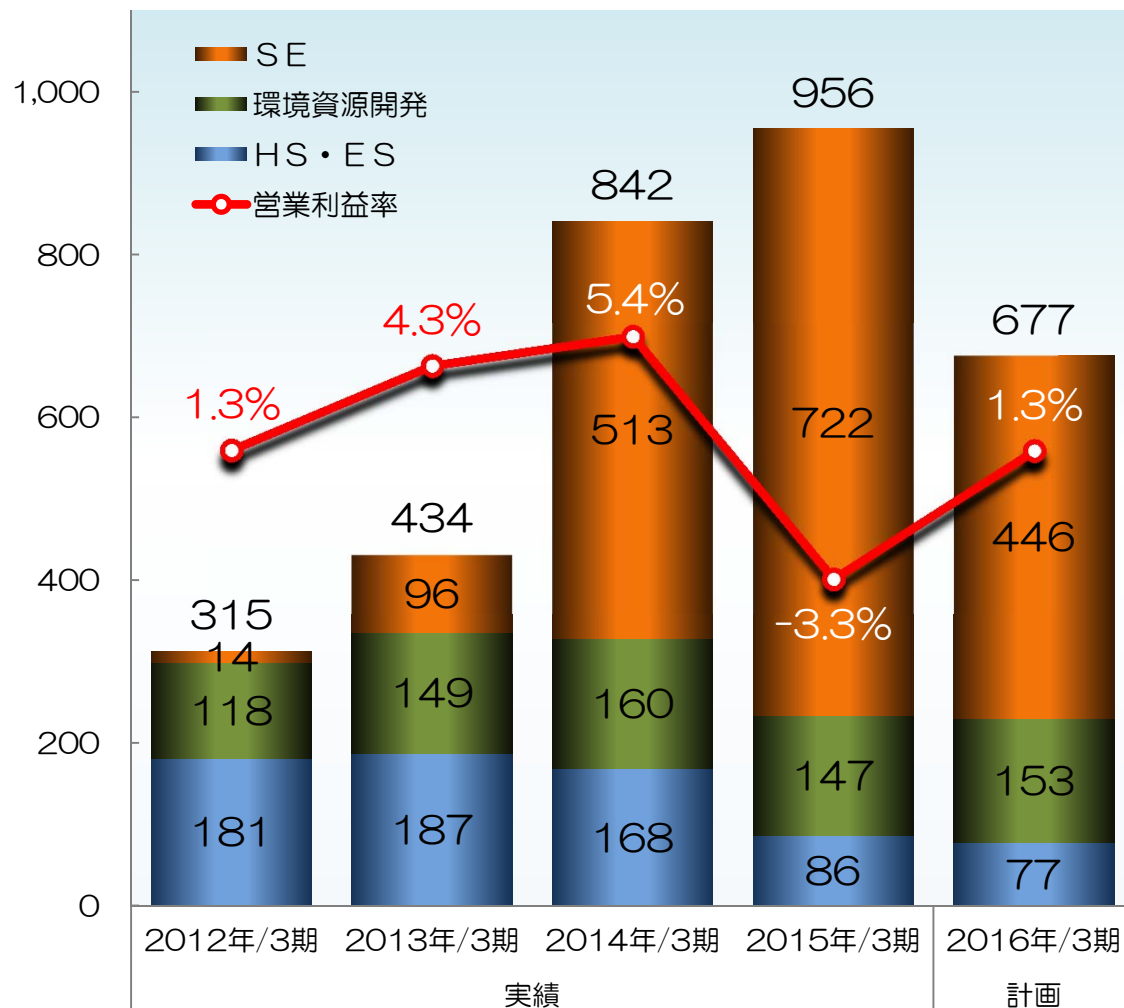
## 【電力小売全面自由化への対応について】

2016年4月からの小売全面自由化（低圧需要家への販売解禁）に向けて、制度低圧需要家（一般家庭や小規模事業所）への小売について検討中。託送料や損失率などの諸条件が年内に確定するのをうけて詳細方針を決定の予定。

2015年11月13日に業績見通しを修正いたしました。

## 2016年3月期セグメント別売上高・営業利益率の見通し

(売上高：億円)



### 2016年3月期見通し

売上高：**67,760**百万円

営業利益：**850**百万円

営業利益率：**1.3%**

・2014/3期までの実績については、SE事業部門は旧産業用PV部門の実績であり、HS・ES事業部門は太陽光発電システムの実績を含めて表示しております。